

高校生が調査結果披露

県内3校の
200人参加

理数系の疑問研究

弘大

第15回県高校理数系課題研究発表会が6日、弘前大学で開か

れ、高校生が数学や理科系の疑問について調査・研究した結果を互いに発表し合い、学びと交流を深めた。

発表会は県高校理数

発表は▽数学・地学



グループで取り組んだ課題研究について発表する高校生ら

▽物理▽化学▽生物の4分科会別に実施し、弘大の各分野の担当教員らが各グループの調査研究についてアドバイスした。

生物系分科会では7グループが発表。八戸北2年の佐藤朋美さんのグループは「新種の外来フシツボを追う」と題して、近年岩手県や宮城県のほか三沢港でも確認されている外来フシツボが八戸港に侵入しているかについて調査結果を発表。

佐藤さんらは、調査では確認できなかったが、千島海流に乗って八戸港に入ってくる可能性などを提示し、今後の課題として生態や分布状況を継続的に調査する必要性を指摘した。

(成田真矢)

※この記事は、陸奥新報社提供です。

無断転載はできません。

[問合せ先]弘前大学理工学研究科

jm3505@cc.hirosaki-u.ac.jp